

信仰の土台は神のことばー聖書

「聖書全体は神のことばである」という真理は、信仰生活全体の土台となる

1. 聖書全体は、神の導きによって書かれた神のことばである。

A) 旧約聖書

「聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練のために有益です。」

(第二テモテ 3 : 16)

「まことに、あなたがたに言います。天地が消え去るまで、律法の一点一画も決して消え去ることはありません。すべてが実現します。」(マタイ 5 : 18)

- ・ 神の子であるイエスは聖書の完全性を信じ、それを弟子たちに教えていた。

B) 新約聖書

「しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。」(ヨハネ 14 : 26)

- ・ 弟子たちは、聖霊によってイエスの教えを思い起こすという保証を得た。

C) 原典は存在しないが、99.9%以上、原典の内容が正確に保たれてきている。

- ・ (1) 写本の数が多いこと、(2) 原本と現存する写本の時間的隔たりが少ない
- ・ あらゆる古代文献の中で、最も信頼性が高く、絶対的な地位に置かれている。

2. 信仰の土台は何よりも聖書のことばとなるべき。

A) 霊的体験～幻・夢・預言は、聖書に基づいて吟味するべき

「愛する者たち、霊をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その霊が神からのものかどうか、吟味しなさい。2 神からの霊は、このようにして分かります。人となって来られたイエス・キリストを告白する霊はみな、神からのものです。」(第一ヨハネ 4 : 1～2) *第二ペテロ 1 : 18～19 も参照。

- ・ 神の命令は、幻や預言を「信じてはならない」ではなく、「吟味するように」
- ・ 極端にならず、バランスを保って取り扱う必要がある。

- ・ ペテロは、すでに書かれた聖書預言を、どんな幻よりも重要視した。

「この方が父なる神から誉れと栄光を受けられたとき、厳かな栄光の中から、このよ

うな御声がありました。「これはわたしの愛する子。わたしはこれを喜ぶ。」18 私たちは聖なる山で主とともにいたので、天からかかったこの御声を自分で聞きました。19 また私たちは、さらに確かな預言のみことばを持っています。夜が明けて、明けの明星があなたがたの心に昇るまでは、暗い所を照らすともしびとして、それに目を留めているとよいのです。」(第二ペテロ 1 : 17~19)

B) 科学よりも信頼できる。

- ・ 進化論や地球の年代等は、実は十分な根拠がない。
 - ・ 科学は、奇跡や預言の成就を説明できない
 - ・ 「科学が聖書に追いついてきた」(Dr. アイコが好きな言葉)
- *Dr. アイコは、米国国防総省で最先端の人工知能の研究をしてきた科学者

3. 聖書の解釈

A) 著者の意図を掴むことが、聖書解釈における重要なポイント

- ・ 原則として、字義通りに理解する。
 - ・ 文脈に沿って理解する。
- *文脈に注意が必要な聖句：「愛は決して絶えることはありません。預言ならすたれます。異言ならやみます。知識ならすたれます。」(第一コリント 13 : 8)
- ・ 比喩的に読もうとし過ぎると著者の意図からずれてくる。

B) 普通に読めば、誰でも理解できる。

- ・ 誰かの助けが無くても、通常の語学力があれば、ある程度理解できる。
- *特に、本質的に重要なことは、誰でも理解できる。
- 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである(ヨハネ 3:16)
- ・ 初期の1世紀当時は、無学な一般大衆の間で大きく広がった。

C) 地理的・時間的・文化的隔たりを考慮する。

- ・ 三つの大きな隔たりがあるので、必ず理解しづらい箇所が出てくる。
- 「・・不正の富で、自分のために友をつくりなさい。そうすれば、富がなくなったとき、彼らがあなたがたを永遠の住まいに迎えてくれます。」(ルカ 16 : 9)
- *不正の富とは、この世の富のことであり、ラビ用語だった。
- ・ 深く理解するためには、牧師や教師の助けも必要となる。

D) 聖霊の導きを求め、神と向き合って読む。

- ・ 聖霊によらなければ、神のことばの真の意味を理解することはできない
「聖霊によるのでなければ、だれも『イエスは主です』と言うことはできません。」
(第一コリント 12 : 3)
- ・ 自分の考えを静め、謙遜な思いで読む。
＊自分の考えと神の考えが一致しない場合、歪んだ聖書解釈に陥る。
「ただし、聖書のどんな預言も勝手に解釈するものではないことを、まず心得ておきなさい。21 預言は、決して人間の意志によってもたらされたものではなく、聖霊に動かされた人たちが神から受けて語ったものです。」(第二ペテロ 1 : 19～20)

4. 参考記事と文献

A) TRUE ARK

- ・ [2. 聖書は本当に神の言葉なのか？ | 聖書の教え](#)
- ・ [福音主義と自由主義神学（リベラル） — 聖書の正しい読み方はどれか？](#)
- ・ [写本の信頼性—旧新約聖書の原典は正確に書き写されてきたのか？](#)
- ・ [ノアの方舟（箱船）と大洪水の伝説は実話なのか？旧約聖書の疑問に答える](#)
- ・ [創造論のアダムとイブ、猿からの進化論、どちらが人類誕生の真実か？](#)
- ・ [臨死体験や天国訪問・幻などによる キリストの啓示は信頼できますか？](#)

B) その他のサイト・文献

- ・ [聖書を読むのに、なぜ解釈学が必要なのですか。](#)（聖書入門）
- ・ [ナザレのイエスは神の子か](#)（いのちのことば社）
- ・ 「創造」の疑問に答える（バイブル・アンド・クリエーション）